

## 「夢みらい鎌倉」を代表して 78件の質問

### はじめに

コロナウイルスが発生し、様々な場所で様々な方々が懸命な努力をされ、私たちの日常が維持されていることに深く感謝しています。中でも日々医療、介護、福祉の最前線で活動されている方々、消防、ゴミ収集、市職員を始めとするエッセンシャルワーカーの方々の働きに感謝申し上げます。



鎌倉市議会2、3月定例会は、毎年会派代表質問と、翌年度の鎌倉市予算の検討が行われます。

私は会派「夢みらい鎌倉」を代表して、コロナ対策を引き続き強化しつつも、子育て施策や共生社会の構築、安全に発展しつづけるための新たなまちづくりに関して、78件の質問をいたしました。主なテーマは――

- 子育て、教育、福祉の充実
- 長寿社会に向けて豊かなくらし
- 市民の安全と明日へのまちづくり

左ページから関連する質問の抜粋をご紹介します。

### 一般会計は前年度比較9.5%増の 671億6,000万円

令和4年度の予算の考え方は、コロナ収束後を見据え、鎌倉市の未来を切り開いていく、「ミライツクル予算」を掲げ、一般会計は671億6千万円（前年比較約58億4千万円、9.5%増）となっています。

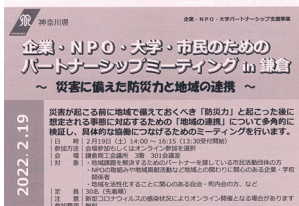
大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が始まりましたが、鎌倉市の未来を担う人達のために、今、努力しなければなりません。こうしたことを踏まえ、提案された多くの実施計画に沿って、78件の質問をいたしました。

前川あやこの活動は  
ブログ「いやさか通信」  
Facebook、Instagramを  
ご覧ください。



## ブログ「いやさか通信」から

### 災害に備えた地域の連携



企業・NPO・大学・市民など、横浜・鎌倉・逗子・葉山から集まり、防災で連携しようという集まりにオンライン参加。町内の取り組みなど発表しました(2/22)。

### いじめ反対のピンクシャツ



「いじめ反対の日」をピンクシャツデーとして普及する試みが、鎌倉市議会の会派でも進められています。いじめ絶対ノー! を発信しましょう(2/21)。

### 鎌倉殿・13人のゆかりの地



鎌倉駅東口の観光案内所で配布されているこのマップ、机に広げて図上の旅。暖かくなったら友人と共にぜひ歩いてみたいと思います(2/13)。

### 「玉縄城下の石塔展」鑑賞



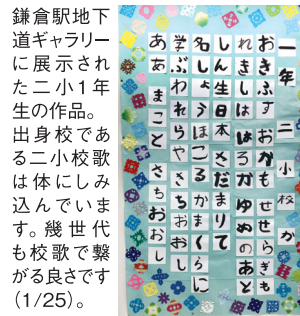
玉縄まちづくり会議が設立して16年。龍寶寺境内にあるギャラリーで開催されたゆかりの石塔展。境内の紅白梅にはメジロが訪れていました(2/11)。

### 「夢みらい鎌倉」勉強会



同じ会派に所属する池田実、中里成光、日向慎吾各議員と2・3月議会の勉強会。機会をとらえては行っており、充実した時間となります(1/27)。

### 第二小学校校歌に思うこと



鎌倉駅地下道ギャラリーに展示された二小1年生の作品。出身校である二小校歌は体にしみ込んでいます。幾世代も校歌で繋がる良さです(1/25)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。  
<http://www.maekawa-ayako.net>

## 共育のまち、鎌倉をつくろう



「鎌倉殿の13人」の大河ドラマ館がオープン。実際にドラマで使用される衣装やおしゃべりするポスター、入館者の身振りで変わるビジュアル、朝朝や義時とツーショットできるパネルなど。観るだけではない工夫を凝らした展示が楽しめます。鶴岡八幡宮「鎌倉文華館」にて(2022,3,1)。



# 前川あやこ

無所属 鎌倉市議会議員5期

2005年初当選 5期目 夢みらい鎌倉

議会運営委員会委員

教育福祉常任委員会委員

レポート

NO.74

2022,03発行

### 2022年2・3月議会からのご報告

- 1 会派を代表して78件の質問
- 2 子育て、教育、福祉の充実
- 3 長寿社会に向け、豊かなくらし
- 4 市民の安全と明日のまちづくり



WEBサイト

討議資料

【発行】前川あやこ 【住所】〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-10-8  
【TEL / FAX】0467-23-0964 【E-mail】info@maekawa-ayako.net  
【前川あやこ履歴】1960年鎌倉市二階堂生まれ、聖心の園幼稚園  
第二小・中学校、聖園女学院、日本大学。

## 子育て、教育、福祉の充実

### ◇小児医療費助成事業

- 小中学生の養育者の所得制限を廃止。食事療養負担額を除く0歳から中学3年生の入・通院にかかる自己負担医療費の全額が、4月1日から助成されます。

### ◇児童・生徒の教育充実

- 学校に通いづらさを感じて不登校となる子ども達は鎌倉市でも増えています。不登校特例校設置に向けて、令和4年度は規模・施設の検討に入る予定。
- 学校・家庭・地域が一体となり、よりよい教育を実現する鎌倉版コミュニティ・スクール。令和4年度内に、第二・手広中学の2ブロックに設置、運用が開始されます。
- 今後提供される学校給食の食材に、オーガニック食材や地場産品を取り入れ、より充実した給食になるとともに、身体や健康について学ぶきっかけとなります。
- コロナ禍において子ども達の学びは、対面活動の制限など、様々な制約を受けています。同時に悪影響だけではなく、ICTを活用した新たな学びの創出や、児童・生徒の主体性を発揮させる契機として活かします。
- 全市立小中学校の冷暖房設備設置は、特別室に令和4年度中の設置を予定。全校舎の冷暖房設備が整います。

### ◇様々な方への福祉の充実

- 平成30年度に就労者数1,411人からスタートした障がい者2千人雇用の取り組みは、令和3年12月で1,791人までに増加。IT業務や農業就労など新たな取り組みを図っています。
- 市民の強い要望を受けて、がん治療後の脱毛ウィッグ購入の費用助成は、上限3万円、90人分が実現。

## タブレットでいじめ相談

昨年の9月議会で前川が要望していた、「児童生徒が持つタブレットから、自分が抱えるいじめや不登校の問題を、オンラインで相談できる体制」。R4年度から事業費が計上され、実施される運びとなりました。また一つ前に進みます。



児童生徒に貸与する  
端末アイコン  
「子どもSOS」

## 長寿社会に向けて、豊かなくらし

### ◇高齢者在宅福祉関係の事業

- エンディングノートの周知は、広報紙・LINE・TwitterなどSNSの発信を行い、コロナ禍で講座等が難しい中、令和3年度からは市のHPからダウンロードできるようになるなど、多くの方々に知られ、活用されています。
- 高齢者雇用促進事業は、平成29年度事業開始以来、のべ460人が就労。さらに積極的に進め国の委託事業が終了する令和5年度以降につなげる予定。
- 市では、フレイル予防のための運動教室、ミニ講座を行っています。コロナ禍でもあり、また長寿社会を迎えて、さらなる予防対策に取り組んでいきます。



### ◇ゴミ処理広域連携と戸別収集

- 鎌倉市、逗子市、葉山町による広域連携は計画通り。中継施設となる名越、今泉の各地元と協議が進行中。
- 紙おむつの資源化は、民間事業者において確立した資源化技術があり、鎌倉市も実証スキームの構築を検討していて、導入を目指しています。
- 家庭ゴミの戸別収集は、過去の実証実験から年数が経過していることから、改めて市民の理解をいただき、早期の段階的実施を目指します。

### ◇かまくら市民共生サポーター事業

- 子育て・家事・生活支援・介護など個別の運営でしたが、課題の共有や連携に向けた検討を行い、ヤングケアラーやダブルケア問題も含めて、令和6年度の試行運用を図ります。

## 鎌倉市のコロナ感染、急激に拡大

市内の感染者数はオミクロン株によって連日100人を超えることもあり、これまでの感染総数(保健所把握人数)は、3月9日現在6,977人。鎌倉市民の25人に1人が感染したことになります。3回目のワクチン接種は、18歳以上で、2回目接種から6ヵ月以上たっていれば接種できます。3月6日現在、3回目接種率は、65歳以上56.18%。全世代(18歳以上)28.92%。小児(5~11歳)接種は希望者のみ3月23日から。☎0570-011-288

## 市民の安全と明日のまちづくり

### ◇緑の保全と災害避難の充実

- 民有緑地維持のための助成金は、令和4年度も昨年度とほぼ同額を当初予算として計上。
- 近年、ナラ枯れした樹木が目立ちますが、市有緑地では倒れて道路や住宅に影響する可能性のあるものはパトロールを実施して伐採が行われます。
- 釈迦堂口遺跡については、現在行われている隧道部分と大町側工事は令和5年2月完了の予定。浄明寺側は、令和5年度から7年度にかけて実施を予定しています。
- 沿岸部一斉津波避難訓練等の実施、津波避難標識の整備・周知を行っていきます。災害時の避難行動については、事前に周知を図ることが大切で、地域の掲示板なども活用して広く周知することを要望。
- 現在市立小中学校に開設される避難所はペット連れも可能ですが、同室で過ごすスペースは確保されていません。対策が必要と認識しており、検討中です。
- 現在町内会等が中心となり、避難所運営マニュアルの作成が進んでいますが、それに基づいた訓練が行われるよう支援が予定されています。

### ◇市庁舎移転とまちづくり

- 市庁舎移転と深沢地区の整備は、この3月に都市計画決定となる予定。令和10年度の新市役所開庁が目指され、費用は170億円と試算されています。気候変動による災害激甚化、コロナの流行、テクノロジーの進化など、変化に対応できる計画が重要です。旧庁舎の活用と共に、市民の理解が得られるよう、十分な説明を求めています。
- 深沢地区整備事業は令和14年に東海道線村岡新駅(仮称)が開業され、令和15年にはインフラ工事が完了予定で、鎌倉市の第3の拠点が生じます。これにかかわる市の一般会計の負担は、総額で47億円です。これについても、十分な説明と住民周知に努めていきたいと思っております。